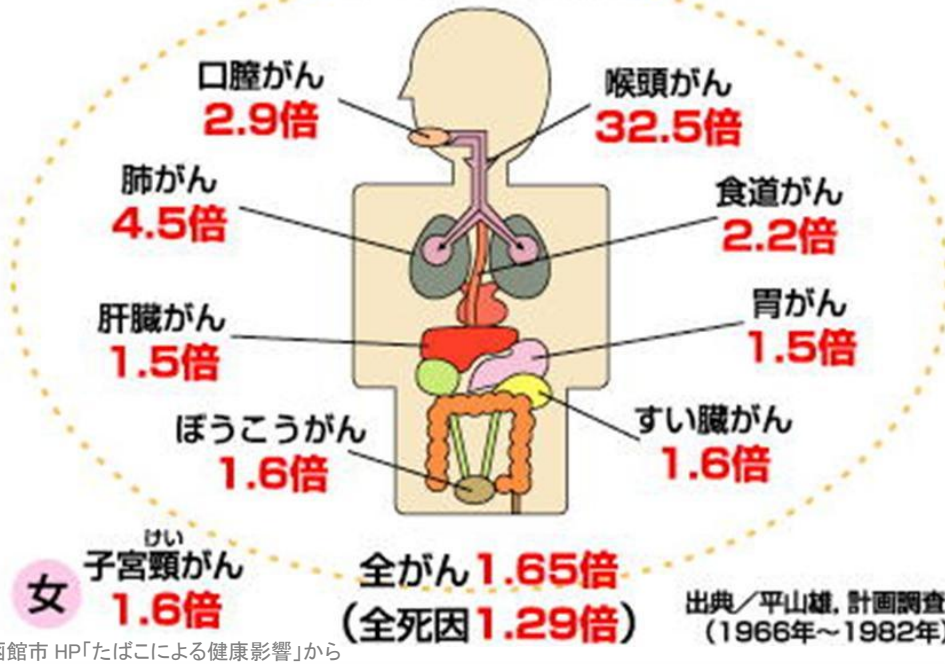


週刊 タバコの正体

タバコを吸い続けると健康が害されていくことは、誰もが知っています。そして喫煙年数が長くなると何らかの病気になる確率が高く、がんを患^{わずら}う人も少なくありません。だから喫煙者が、がんになる確率はタバコを吸わない人に比べ当然高く、さらにがんによって死亡する率は下図に示すように何倍にも

非喫煙者と比較した喫煙者のがんによる死亡率調査



なっています。

例えば、咽頭がんは、なんと32.5倍、肺がんでも4.5倍となっており、全体では1.65倍も死亡率が高くなっています。要するに、喫煙を続けている人はタバコを吸わない人より死亡率が高いわけです。

そこで、左下図を見てください。ある生命保険の広告なのですが、月払保険料が「標準体型」よりも「非喫煙優良体型」の方が安くなる、というのです。つまり、タバコを吸わない人には保険料を割り引きます、という事です。

病気で死亡するリスクが低い人と高い人の保険料が違うのは当然です。とすると最初に紹介したよう

に喫煙者よりタバコを吸わないの方が、リスクが低い分だけ保険料は安くなって当たり前だと言えますよね。ちなみに、4320円の1.56倍が6740円です。がん全体の死亡率は1.65倍ですから納得できる気がします。

タバコを吸い続けると、毎月タバコ代に何千円もかかる上に保険料も高くなり、さらに健康も損なわれていくのですから、損をすることがあっても得をすることはありません。

産業デザイン科 奥田 恭久

■ 保険料例 (35歳 男性)
保険金額「2,000万円」 保険期間・保険料払込期間「60歳満了」 (2016年4月1日現在)
口座振替/クレジットカード支払

<p>月払保険料 4,320円</p> <p>非喫煙優良体型</p>	<p>約35% 割引</p>	<p>月払保険料 6,740円</p> <p>標準体型</p>
--	---------------------------	---

「保険市場」サイトから